

授業科目	*母性看護学演習				単位	1		
履修	必修	関連資格	高一種免(看護) 養教一種免		ナンバリング	NU21307J		
開講年次	3	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP4-1 DP4-2			
担当教員	前田 幸、山田 恵、古賀 玉緒、新郷 朋香							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>周産期の対象の健康状態に応じた看護を実践できる能力を育成することを目的に、周産期の事例を用いて看護過程の展開方法や看護技術を学ぶ。</p> <p>1. 看護過程演習では、母性看護方法論における知識をもちいて多角的に対象を捉え、根拠をふまえてアセスメントを行い、包括的に対象を捉えた看護計画を立案する。</p> <p>2. 母性看護技術演習では、産婦人科病棟や地域における実務経験のある教員の指導のもと、基本的な母性看護技術を演習する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1. 母性看護における看護過程の展開方法を理解できる。</p> <p>1) 母性看護に関する基本的知識を述べることができる。</p> <p>2) 収集した情報を根拠に基づいてアセスメントできる。</p> <p>3) 対象の全体像をとらえることができる。</p> <p>4) 対象の状態に応じた診断ができる。</p> <p>5) 診断ごとに目標(退院までに期待される成果)が設定できる。</p> <p>6) 目標に応じた看護計画が立案できる。</p> <p>2. 母性看護学に必要な技術の方法を理解できる。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	50	0	30	15	0	5	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	20						20	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	30						30	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)				5		5	10	
態度(DP4-2)			30	10			40	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
標準レベルを達成したうえで、他者との連携や意見交換を主体的に取り組むことができる。また、看護過程演習や母性看護技術演習においては常に根拠を考え対象を捉え、基本に沿った技術を習得することができる。				<p>1. 母性看護における看護過程の展開方法を理解できる。</p> <p>1) 母性看護に関する基本的知識を述べることができる。</p> <p>2) 整理した情報を根拠に基づいてアセスメントできる。</p> <p>3) 対象の全体像をとらえることができる。</p> <p>4) 対象の状態に応じた診断ができる。</p> <p>5) 診断ごとに目標(退院までに期待される成果)が設定できる。</p> <p>6) 目標に応じた看護計画が立案できる。</p>				

		2. 母性看護学に必要な技術の方法を理解できる。		
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	母性看護における看護過程 (前田、古賀、山田、新郷) 1. ウエルネス診断にもとづく母性看護の看護過程の概要について解説する。 2. ウエルネス診断にもとづく母性看護の看護過程の方法について解説する。 3. 課題事例について説明する。 4. 母性看護技術演習について説明する。	講義	予習:母性看護方法論の内容を復習しておく。 復習:講義の中で提示された課題に取り組む。	60
2	進行1に同じ	講義	進行1に同じ	
3	A:母性看護技術演習(1) 1. 母性における看護技術を実施する。 2. 母性における看護技術の方法について必要な観察項目や手順についてまとめる。 B:看護過程の展開(1) 妊娠・分娩の経過のアセスメント・まとめを行う。(個人ワーク) (古賀、山田、新郷、前田)	演習	予習・復習:看護着技術について手順や観察の方法など学習する。 ※詳細は講義の中で提示する。	60
4	進行3に同じ	演習	進行3に同じ	
5	A:看護過程の展開(1) 妊娠・分娩の経過のアセスメント・まとめを行う。(個人ワーク) B:母性看護技術演習(1) 1. 母性における看護技術を実施する。 2. 母性における看護技術の方法について必要な観察項目や手順についてまとめる。 (前田、古賀、山田、新郷)	演習	予習・復習:看護着技術について手順や観察の方法など学習する。 ※詳細は講義の中で提示する。	60
6	進行5に同じ	演習	進行5に同じ	
7	母性看護技術演習(2) 1. 沐浴の技術テスト 看護過程の展開(2) 1. 課題事例(産褥期・新生児期)のアセスメントを行う。(個人ワーク) (前田、古賀、山田、新郷)	講義 演習	予習:看護技術テストに向けた準備を行う。 復習:看護過程に関する課題に取り組む。	60
8	進行7に同じ	講義 演習	進行7に同じ	
9	看護過程の展開(3) (前田、古賀、山田、新郷) 1. 全体質疑応答 課題事例(産褥期・新生児期)のアセスメントについて解説する。 2. 担当教員との質疑応答・個人ワーク・意見交換	講義 演習	予習・復習:講義の中で提示された課題に取り組む。	60

	3. 課題について説明する。 (全体像、看護診断、看護目標・看護計画)			
10	進行9に同じ	講義 演習	進行9に同じ	
11	看護過程の展開(4) (前田、古賀、山田、新郷) 1. 全体質疑応答 課題事例の全体像および看護診断、看護目標・看護計画のまとめ方について解説する。 2. 担当教員との質疑応答・個人ワーク・意見交換	講義・ 演習	予習・復習:講義の中で提示された課題に取り組む。	60
12	進行11に同じ	講義 演習	進行11に同じ	
13	看護過程の展開(5) (前田、古賀、山田、新郷) 1. 全体質疑応答 課題事例の全体像および看護診断、看護目標・看護計画のまとめ方について解説する。 2. 担当教員との質疑応答・個人ワーク・意見交換	講義 演習	予習・復習:講義の中で提示された課題に取り組む。	60
14	進行13に同じ	講義 演習	復習:課題事例(褥婦・新生児)の全体像、看護診断、看護目標・看護計画を追加修正する。	
15	看護過程の展開(6) (前田、古賀、山田、新郷) 1. 全体質疑応答 2. 看護過程について解説 計画立案後の SOAP について解説する。 帝王切開時の看護過程について解説する。	講義 演習	復習:課題事例(褥婦・新生児)の全体像、看護診断、看護目標・看護計画を追加修正する。 (看護過程の最終提出日時は講義内で提示する)	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				

30				
理解に必要な予備知識や技能	母性看護学概論・母性看護方法論で学習した内容について復習しておいてください。			
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学各論 母性看護学② 森恵美他著 医学書院 2021 病気が見える⑩ 産科 第4版 MEDIC MEDIA 2018 ウエルネス看護診断にもとづく母性看護過程 第3版 太田操著 医歯薬出版 2020 ナーシンググラフィカ 母性看護学③ 母性看護技術 荒木奈緒他著 MC メディカ出版 2022			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	病気が見える⑨ 婦人科・乳腺外科 第4版 MEDIC MEDIA 2016 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 女性生殖器 成人看護学⑨ 末岡浩他著 医学書院 2019 適宜、資料を配布します。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	母性看護学実習に必要な科目です。 講義は母性看護学概論・母性看護方法論で得た知識をふまえて進めていきます。課題の達成にむけて積極的・自主的に予習・復習や自己練習に取り組みましょう。なお、不明な点は教科書を見直す、教員に確認するなどして解決しましょう。 看護過程演習・技術演習では小グループに分けて実施します。 感染予防の観点からも指定された教室以外の移動は控えて下さい。 感染予防ガイドラインを遵守し感染予防に努めましょう。			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	評価は、試験・レポート(看護過程・看護技術に関する提出物)・発表(技術テストや意見交換)で総合的に行います。その他については、レポートの提出状況や講義中の態度、演習への取り組み姿勢などで評価します。 レポートや発表に関するフィードバックは講義内もしくはクラスルームなどで行います。 評価点が不可の場合は、再試験を行い評価します。			